大学院進学

2024年3月
大学院修了生の就職実績

※大手企業とは資本金3億円以上、
または従業員300名以上の企業で、
KIT工学研究科修了生のみ

研究者、専門技術者を目指すなら

大学の4年間に、プラス2年間でさらに力を伸ばすのが大学院だ。より深く研究に取り組むことができ、特に大手企業の研究・開発職などの職種に就くためには、必須となる進路選択でもある。KITは工学研究科など3つの研究科に11専攻を有し、高度な知識・能力を有する研究者・専門技術者の養成を行っている。

大学院進学のメリット

1.好きな研究に打ち込める

大学院ではより深く研究に取り組める。例えば大学4年間での学びの集大成となる「卒業研究」のさらに先の研究も可能。4年次の早い段階で大学院進学を決めれば、研究期間を3年間と捉えることができる。また別の研究テーマでも大学4年間のペースがあるため、より高度な段階まで到達することができる。

2.学部生よりもさらに就職先が広がる

KITの大学院修了生は、そのほとんどが希望通りの進路に進んでいる。就職先は主に上場・大手企業、職種は研究職や開発職が中心だ。KITでは大学4年間の学部卒でも就職率の高さが知られているが、KIT大学院の修了者はさらに高い就職率・就職実績を誇り、OB・OGもさまざまな企業で活躍している。

大学院進学者へのサポート

大学院進学を希望するものの、2年間の学費が心配……。そんな学生に対しては、下の支援制度が用意されている。先輩たちも活用しているお得だ。

大学院特待生	優秀な大学院生の経済的支援を目的に設けられた奨学金。「特待生A」には年間50,000円、「特待生B」には年間250,000円が給付される。
大学院修学奨励金	経済的な支援が必要な大学院生で、研究で成果を上げた大学院生に第1種から第4種までの修学奨励金が支給される。
TA（ティーチングアシスタント）制度	実験・実習、演習科目など授業科目の教育活動に従事する制度。時給1,030円を支給。 ※2024年7月13日現在

過去3年間の大学院進学実績

2022年3月		2023年3月		2024年3月	
金沢工業大学	202	金沢工業大学	222	金沢工業大学	213
上越教育大学	4	北陸先端科学技術大学院大学	5	慶應義塾大学	3
北陸先端科学技術大学院大学	3	信州大学	3	北陸先端科学技術大学院大学	3
金沢大学	2	上越教育大学	3	金沢大学	2
京都工芸繊維大学	2	筑波大学	3	上越教育大学	2
滋賀大学	2	金沢大学	2	千葉工業大学	2
秋田大学	1	福井大学	2	大阪公立大学	1
大阪工業大学	1	宇都宮大学	1	京都工芸繊維大学	1
慶応大学	1	自治医科大学	1	高知工科大学	1
岐阜大学	1	京都工芸繊維大学	1	信州大学	1
九州工業大学	1	慶應義塾大学	1	千葉大学	1
群馬大学	1	東京工科大学	1	東京学芸大学	1
信州大学	1	鳥取大学	1	東京都立産業技術大学	1
筑波大学	1	富山大学	1	富山大学	1
東京学芸大学	1	名古屋工業大学	1	長岡技術科学大学	1
東京工業大学	1	兵庫県立大学	1	名古屋大学	1
名古屋工業大学	1	立命館大学	1	奈良先端科学技術大学院大学	1
静岡大学	1	早稲田大学	1	新潟大学	1
横浜国立大学	1			日本大学	1
合計	223	合計	251	合計	238

KIT的学部・大学院の活用例

表
テキスト
図、画像

進路サポート

進路開発センターによる学生支援

進路開発センターでは、キャリアカウンセラーの資格を持つスタッフが学生の相談に応じている。進路相談、面接などのノウハウをきめ細かく指導し、学生の就職活動をサポートしている。

Q.なぜKITの学生は「就職には困らない」のですか？

A. KITの学生は「**磨かれて**」いる。
私たちはその背中を押すだけです。

「KITの学生は就職には困らない」。就職を決めた学生や、OB・OGからそんな声が聞こえてくる。その背景には何があるのか。「KITの学生は授業等で人間が磨かれている。私たちは学生に『これまで取り組んできたことをPRしよう』と後押しをするだけです」（二飯田氏）。KITにはインターンシップ指導や個別面談など、きめ細かな支援はいくらでもある。しかしそんな進路サポートの根底にあるのは「カリキュラム」への信頼と活用なのだ。

進路開発センター
二飯田 一貴

始まりの「KITインターンシップ」

KITの就職支援は、3年次4月に開かれる「インターンシップガイダンス」から始まる。以降、学生はKITに寄せられた情報から申し込みを行い、夏休みの8～9月に1週間程度、企業でのインターンシップに参加する。

先輩に学ぶ「就職活動ガイダンス」

「就職活動ガイダンス」は毎年約1,200名が参加する進路開発センター独自のイベント。内定を獲得した4年生によるパネルディスカッションなど、就職活動に成功した先輩のノウハウを吸収でき、気になる点があれば質問も可能だ。

1対1で行う濃密な「個別指導」

「個別指導」は学生の要望に応じて進路開発センターで実施される。基本は1回1時間で、履歴書の添削などを行う。面接指導では応募企業で実際にあったやり取りを再現した模擬面接も実施。年間延べ2000人の学生が利用している。

	キャリア教育・就業力	主な就職支援プログラム
1年次	自己管理・キャリアに関する授業 ➡修学基礎B	
2年次	技術者としての心構え キャリアデザインの明確化 ➡技術者と持続可能社会	
3年次	専門性・内容とキャリアの結びつけ 自分のキャリアの決定 ➡専門ゼミ ➡進路セミナーⅠ・Ⅱ （ほかにも企業人の講演会や企業見学など、さまざまなプログラムが用意されている）	4月～ ➡インターンシップガイダンス（就職活動準備ガイダンス） ➡インターンシップ自己分析 ➡インターンシップ事前講義 **夏季休業中にインターンシップに参加** ➡インターンシップ事後講義 10月～ ➡就職活動ガイダンス　➡自己アピール対策講座 ➡履歴書就職講座・面接対策講座 ➡業界・企業研究講座　➡適職検査 R-CAP 活用法講座 ➡SPI 試験対策講座　➡女子学生就職講座 ➡ビジネスマナー講座　➡業界セミナー 多彩な就職支援プログラムを年間延べ 9000 人の学生が利用している 2月～ ➡就職活動支援バス運行
4年次		学内企業説明会、学生個別の模擬面接など、さまざまな支援が行われる

効率的な「キャンパス内企業説明会」

KITではOB・OG在籍企業などによる説明会が定期的に実施される。学生にとっては利便性が高く、企業側にとってもKITの学生に絞り込んだ内容の濃い説明を行うことが可能。双方のベストマッチングが期待できる説明会となっている。

1年次からの「キャリア教育」

KITでは授業の一環として1年次から「キャリア教育」を行っている。自己管理やキャリアに関する考え方を養い、技術者の心構えなどを育成する教育プログラムが用意されている。

格安の「就職活動支援バス」

毎年2月からは就職活動に必要となる学生の交通費を軽減するため、「就職活動支援バス」が運行される。行き先は東京・大阪・名古屋・新潟・仙台で、バス代は片道1,500円から3,500円に抑えられている。